

経営比較分析表（平成30年度決算）

北海道 月形町

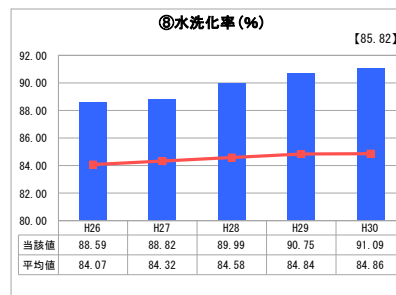
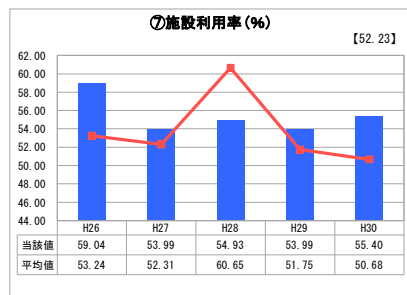
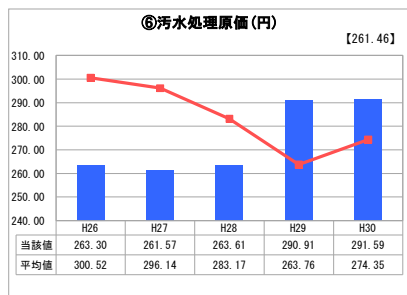
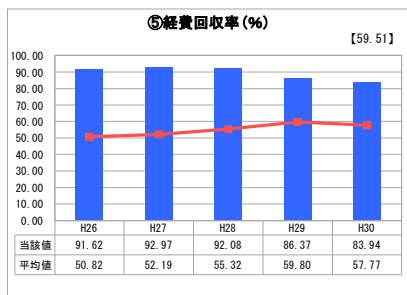
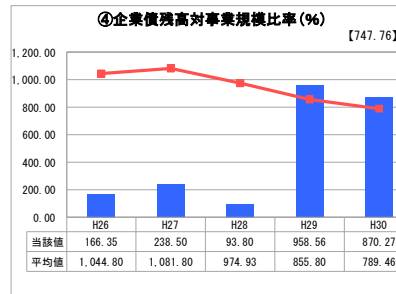
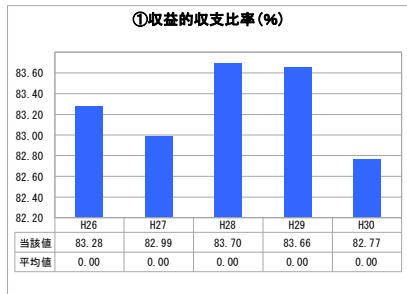
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ [※] 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	54.37	89.56	4,579

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,216	150.40	21.38
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,718	1.57	1,094.27

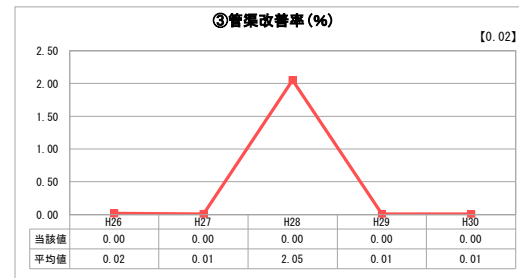
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①約83%の数値を推移している。資本費準合理化の活用により、一般会計からの繰入金を抑えている状況であるが、今後も経営改善に向けた努力が必要である。
- ②-
- ③-
- ④類似団体平均値程度の数値で推移している。
- ⑤類似団体平均値より低い値で推移しているが、100%を下回っていることから、使用料収入以外の収入に依存している。使用料の回収に一層の努力が必要である。
- ⑥類似団体平均値より高い値で推移している。今後も施設の適切な管理による経費削減と接続率の向上により有収水量を増加させる等の努力を行っている。
- ⑦類似団体平均値程度の数値で推移しているが、人口減少や高齢化により利用率の低下がみられる。今後は施設の規模縮小や統廃合等を検討していく必要がある。
- ⑧類似団体平均値より大きく上回っている。接続戸数は微増しているが、単身世帯が多く水量の増加にはつながらっていない。

2. 老朽化の状況について

- ③管渠について、耐用年数が経過するまで期間があるものの、劣化状況を把握して計画的な更新を行う必要がある。

全体総括

全体的に類似団体の経営に近い状況である。水洗化率は高い数値を維持しているが、汚水処理原価についてはやや増加となっている。また、経費回収率については高い数値を維持しているものの、減少傾向となっている。今後も有収水量の増加に向け接続率の向上、経費回収については前年以上の回収率となるように努める必要がある。

施設の老朽化については、月形地区施設の電気系統の更新を令和5年より行う。市南地区施設についても、最速整備構想に沿って計画的な更新を行っている。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。